



酒井だより

(金屋地区集落支援員)

3月の活動

～集落支援員に関する研修会～

・ 3月19日(火)：新潟市興和ビル

県の主催で各市町村の集落支援員と担当者を集めた研修会が開かれ、参加してきました。

研修会の事例発表では、私たち荒川支所と小千谷市が集落支援員の活動を発表しました。集落支援員としてはまだ私の私ですがここは一番、荒川をアピールするいいチャンスと思い支所の担当者と晴れ舞台に上がりました。

発表までは原稿を考えたり練習したり大変でしたが、発表時間内に収まってまあまあでした(^)これからも機会があれば荒川の良さを宣伝していきたいと思います。



～つどい場「あら、ほっ」の春休み～

3月27日(水)～29日(金) 子供たちの自由な遊び場として荒川地区の小学生を対象に「あら、ほっ」を全館開放しました。イメージは「屋根のある公園」です！遊び道具はほとんどありません。鬼ごっこ、かくれんぼ、ドッジボールなど自分たちで考えて遊びます。ルールは少しあります。カフェではトランプ、お絵かき、折り紙など静かに遊ぶこと、ケガをしないように自分で気を付けて遊ぶこと。何回か実施しているので常連さんが遊びをリードしていました。連日40人の子供たちで賑やかにパワーいっぱいとなりました。楽しい時間、ケガなく終えて良かったです。

みんなとてもいい子です(^)また、遊びにきてください。

◆中学校コーディネーターとして◆

3月8日（金） 第72回荒川中学校卒業式

86名の卒業生がそれぞれの思いを胸に卒業しました。卒業生とは思い出がいっぱいあり感無量でした。「地域貢献活動」で商工祭や学校でのバザー、「あら、ほっ」でのスクールカフェや「あら、ほっ」の壁にラベンダーを描いたこと等々、どんな場面でも自分たちで考え一生懸命に取り組む姿、協力する姿は感動でした。

陸上、吹奏楽やコーラス、絵画、地域貢献など生徒たちは素晴らしい結果を残し、その結果を生徒と指導した先生と手を取り合って喜んだ姿が昨日のように蘇ります。

校長先生は「人は誰でも幸せになるために生まれて来たんだよ」と折に触れて子供たちに話していましたが、努力が実を結ぶことも無論、幸せなことですね。度々語るため生徒が付けた校長先生のあだ名は「しあわせ推進党の党首」だそうです(笑)

荒川中学校を卒業生したことを誇りに、健やかにあれ！おめでとう！

§ 酒井のひとこと §

3月は卒園、卒業のシーズンでさまざまな準備に追われた方も多かったでしょうね。

「あら、ほっ」でも「ママカフェ&荒島ラベンダー広場」のお別れ会をしました。合計7人の子が入園や引っ越しでお別れなのでみんな手作りの海苔巻きパーティーをしました。子供たちは巻き終わるのを待てずに食べ始めて「いいよ、いいよ、食べさせよ〜。」と大笑いしながらの楽しいひと時でした。

3人の見守りボランティアさんもありありがとうございました。今年はどんなお子さんが来てくれるか心待ちにしています。

ママカフェは水曜日 10時～12時。ラベンダー広場は平日 15時～17時。就学前のお子さんとママ、パパ、おばあちゃん、おじいちゃんの遊び場です。申し込みもいりませんから、ぶらっとお立ち寄りください。



金屋地区集落支援員 酒井幸子
連絡先：つどい場あら、ほっ(旧荒島保育園)
電話 62-7144



担当事務局
荒川支所地域振興課 自治振興室
電話 62-3102